



さくらんぼだより



6月号

令和7年6月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

家庭と園とで“共に子育て”を

暖かな日差しに、木々の緑が深くなり、初夏の訪れを感じる頃となりました。園庭の畑では、空に向かって育っていたソラマメの実が重くなり、下を向いてきています。また、事務室前のイチゴ畑に実がなり始め、子どもたちは「見つけた！」「これは食べられるね！」と次々にイチゴを発見！子どもたちと、大事に大事に少しずつ分けて食べてみると、その甘さと酸っぱさに大喜びしていました。今は、毎朝イチゴ畑を覗きながら「次はこれが赤くなるよ！早く食べたいね～」とイチゴが赤くなっていくのを観察するのが日課になっています。

さて、過日行われた0歳～5歳の保育参観・懇談会では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただきました。3歳以上児クラスの保育参観では、お父さん、お母さんたちと、園で大事にしているわらべうた遊びやクッキングを楽しみました。3歳のクラスでは“うどん作り”、4歳のクラスでは“イチゴジャム作り”、5歳のクラスは“よもぎ団子作り”と、食育を大事にしている西多賀チェリーこども園ならではの内容となりました。

懇談会では、今年度クラスで大事にしていきたいことや、今の子どもたちの様子を写真や映像を交えてお伝えしました。保護者の方々からも、離乳食や食べ物の好き嫌いについてのこと、休日の過ごし方やきょうだいゲンカについてのこと、動画などのソーシャルメディアについてなど、子育ての悩みを話していただきました。その中で、きょうだいのいる保護者の方や子どもとの関わりに奮闘している保護者の方からの体験談を聞いて「我が家でもやってみます」と子育てのヒントをもらったり、同じ悩みを持つ方が他にもいることで「一人で悩んでいた気持ちが楽になりました」や、「楽しい時間を過ごせました」と感想を話していただき、私たちも嬉しい気持ちになりました。

仕事をしながらの子育ては、大変なことも多くあるかと思いますが、子育ての“今”を大事にできるように皆で支え合っていければと思います。

6月6日(金)は、3歳以上児クラスの親子遠足があります。保護者の皆様のご協力を頂きながら、クラスの親睦を深め、子どもたちにとって楽しい思い出になるようにと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2025・6・1 園長 佐藤 真里枝

おしらせ



＜歯科健診について＞

6月26日(木)午前9時30分より、園医の川俣先生による歯科健診があります。当日止むを得ずお休みになった場合は、後日、保護者の方に川俣歯科医院の方へ直接行って頂くようになりますので、なるべく欠席をしないようお願いいたします。



＜プール開きについて＞

6月17日(火)3歳以上児クラスで、プール開きを行います。プール遊びや水遊びの持ち物等の詳細は、後日お知らせいたします。



＜夏まつり実行委員会について＞

6月18日(水)17:30～夏まつり実行委員会を行います。今年度も、保護者の方と一緒に楽しいまつりにしていきたいと思っていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

行事予定

6月

日	曜日	行事
6	金	3歳以上児親子遠足
12	木	シェイクアウト訓練
13	金	発育測定
16	月	手洗い指導
17	火	誕生会・プール開き
18	水	夏まつり実行委員会
26	木	歯科健診9:30～
30	月	5ADAY(スイミー組)

7月

日	曜日	行事
5	土	三丁目南公園草刈り
7	月	七夕会
8	火	避難訓練
11	金	発育測定
15	火	誕生会
19	土	夏まつり



4歳児クラスのはらぺこあむむし組が育てている「そら豆」が、間もなく収穫の時期を迎えようとしていたある朝のことです。園庭でKちゃんが「あ！ TENTUUMシが来てるよ！」と友だちや担任の先生に教えていました。「どこにいるの？」と、私も見に行ってみると、葉っぱの所に発見！「ほら、ここにいるでしょ。あのね、TENTUUMシさんはアブラムシを食べてくれるんだよ。」とKちゃんが教えてくれました。「TENTUUMシの事をどうしてそんなによく知っているの？」とKちゃんに尋ねてみると、「絵本でも読んだし、NHKの“やさいの時間”のテレビでも観たからだよ」と教えてくれました。Kちゃんの言う通り、TENTUUMシは植物につくアブラムシやうどんこ病の原因となる病原菌などを食べることから、人間の役に立つ「益虫(えきちゅう)」と言われ、TENTUUMシを農薬の代わりに使う農家もあるほどだということです。園で育てている野菜は、全て無農薬栽培をしているので、TENTUUMシは本当に有難い存在なのです。

野菜を育てるという体験が、子どもたちの興味や関心を引き出していると感じた嬉しい出来事でした。TENTUUMシを見ながら「あむあむあむ！」と食べる真似をしていた可愛い子どもたち。次は何に興味や関心を持つのか、楽しみです！



母と子の絵本棚

「たっちゃんのがくつ」

出版社 こぐま社

さく:わかやま けん

たっちゃんは靴屋さんで長靴を買ってもらって大喜び。しかし、片方をなくしてしまうのです。さて、たっちゃんの長靴はどうなってしまおうのでしょうか。物を大事にするメッセージが込められている絵本。ぜひ読んでみてください。



「いちご」 出版社 福音館書店

さく 平山 和子

いちごが出来上がるまでの時間を一緒に楽しむ絵本です。この絵本を子どもたちと見ていると、早く赤い実ができないかな～とワクワクした気持ちになります。

チェリーのいちご畑でも、真っ赤ないちごが次々と実っています。園でも子どもたちと一緒に楽しんで読みたい一冊です。



わらべうたであそぼう

♪ちびすけどっこい♪

ちびすけどっこい はだかでこい
ふんどしかついで はだかでこい



親と子は向かいあって立ち、おすもうさんがシコをふむかつこうをします。シコをふみながらうたを2回うたいます。その後で「ハッケヨーイ ノコック！」とすもうをとります。遊びですから、かんたんに勝負をつけないように。子どもに押されて「〇〇ちゃんは強い強い」といったり、「お母さんはよこづなだぞ」といって子どもを持ちあげたり、ふりまわしたりして勝負をつけます。

版画

「のはらうた」 くらう なおこ作

